



## 大分県景観シンポジウム

# 『地域の暮らしから考える景観』

2023年2月18日土

場所》コンパルホール 3階 多目的ホール (大分県大分市府内町1-5-38)

13:30~16:15  
(開場13:00)

- プログラム
- 13:30~ あいさつ
  - 13:35~ 広域景観の保全・形成について
  - 13:55~ 活動事例発表
  - 15:05~ パネルディスカッション
  - 16:15 閉会

参加費  
無料



お問い合わせ先

大分県 土木建築部 都市・まちづくり推進課  
景観・まちづくり班

TEL 097-506-4671 FAX 097-506-1778  
e-mail a17510@pref.oita.lg.jp

申込方法

大分県 土木建築部 都市・まちづくり推進課まで、電話、ファックス、メール、または左下のQRコードのいずれかで裏面の必要事項をご連絡ください。(ファックスの場合は裏面に記入し、この用紙を送信してください)  
※参加申込に際してご記載いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営の目的以外には使用しません。  
また、本人の同意なく第三者に提供しません。



左のQRコードを読み取ると、参加申し込みの入力フォームにアクセスすることができます。  
なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、映像配信や中止になる場合もありますので、ご了承ください。  
県ホームページにて最新状況をお知らせします。  
<https://www.pref.oita.jp/soshiki/17510/symposium.html>

主催：大分県

## パネリスト



一般社団法人 地域力創造デザインセンター  
代表理事 高尾 忠志 氏

大分県広域景観保全・形成指針策定委員長。  
2013年度より長崎市の公共事業全体のデザイン監修と職員育成を行う「長崎市景観専門監」に就任。2020年4月に一般社団法人を設立して代表理事に就任。学、官、民のそれぞれの立場から各地のまちづくりに関わる。



創造空間kamenos

店主 梶原 純子 氏

日出町の森の中でカフェ・宿を営む。カフェの周囲に自生する竹林を切り開き、別府湾の特別な景色が臨めるよう整備した。また、カフェでは大分で活躍する作家の作品を中心とした展示やイベント等を行うなど、人との“縁”を大切にしながら活躍している。



DOCRE

後藤 好信 氏、河野 功寛 氏

佐伯市船頭町で遊休不動産を活用したリノベーションまちづくりを実践する市職員。  
それぞれが船頭町エリアに購入した空き家をリノベーションする過程やイベント等において関係人口を増やすことを意識しており、地域の日常に変化を与えていている。



天ヶ瀬温泉つなぐ会議

会長 田代 啓介 氏

令和2年の梅雨前線豪雨で浸水被害を受けた日田市天ヶ瀬温泉街で、災害からの復興と魅力づくりに向けて活動している。天ヶ瀬温泉の新たなアクティビティを模索する川辺空間実証実験や河川ライトアップに合わせたナイトウォーク、夜市等を開催。

## コーディネーター



大分大学理工学部創生工学科  
准教授 姫野 由香 氏

大分県広域景観保全・形成指針策定副委員長。  
建築や都市計画を専門とし、景観、観光、まちづくり、中心市街地再生、離島振興と幅広い分野で活躍。主に特定地域の再生や文化的景観の維持・活用への住民参画、離島や中山間地域における地域運営の持続可能性について研究。

## パネルディスカッション

それぞれの地域で暮らしながら、地域づくりに貢献されているみなさんに、事例発表をしていただき、その活動事例を題材にパネルディスカッションを行います。

それが暮らしの中で行っていることが、どのように“景観”とつながっているのか、そして、まちにどのような影響を与えているのかを姫野先生と高尾先生に紐解いていただきます。

また、個々の活動が市町村を越えた広域にわたる景観の保全・形成にも関わる重要な活動であることを、改めて認識できる機会にしたいと考えています。

## 令和4年度 大分県景観シンポジウム参加申込書

氏名

お住まいの市町村

所属（職業）

連絡先

電話

FAX

メールアドレス

### 新型コロナウイルス感染拡大防止にかかるお願い

※ 当日は、マスク等の着用をお願いします。また、発熱（37.5度以上）や体調不良の方は来場をご遠慮ください。